

施策	3201 防犯・交通安全対策の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	誰もが安全・安心に暮らせる環境を確保するため、防犯対策及び交通安全対策の推進を図る						
成果指標	防犯灯延設置数...5年間（平成25年度～平成29年度）で13,750基（現状値12,261基） 交通安全教室参加者数...5年間（平成25年度～平成29年度）で6,000人（現状値4,506人） 歩道設置道路延長...5年間（平成25年度～平成29年度）で132,251m（現状値129,306m）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [基]	予定	10,745.00	12,861.00	13,161.00	13,461.00	13,750.00
		実績	10,531.00	12,888.00			
	成果指標2 [人]	予定	5,600.00	5,100.00	5,400.00	5,700.00	6,000.00
		実績	4,281.00	4,550.00			
		単位コスト	111.03	80.65			
	成果指標3 [m]	予定	104,070.00	129,931.00	129,931.00	131,034.00	132,251.00
		実績	104,070.00	129,931.00			
		単位コスト	4.57	2.82			
	成果指標4 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
トータルコスト (千円)	予定	534,615	220,406	0	0	0	
	実績	475,335	366,940			0	
内部評価	貢献度	犯罪件数・交通事故件数の減少には、防犯灯設置灯数・交通安全教室参加者数の増加や、歩行者の安全施設の整備推進が必要であるため、目標達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	防犯灯設置灯数は、目標数に達した。交通安全教室参加者数は、PR不足のため目標に達しなかった。また、歩道設置道路延長は、目標に達した。					
	課題	防犯、交通安全への関心を高めるための周知・啓発活動を継続的に実施することが必要。また、交通安全施設整備を計画的に推進するためには、十分な財源の確保が必要。					
	取組方針	防犯灯設置は、自治会に周知し要望を取りまとめもらう。交通安全教室開催をHP等を通してPRするとともに、通学路交通安全プログラムを策定し順次整備推進を図る。					
外部評価	防犯灯の整備等は一定の成果が見られるので、継続して適切な場所へ防犯灯を設置いただきたい。今後は無人駅周辺の防犯対策に関して、防犯カメラの設置や市民との協働による防犯パトロールの実施及び鉄道会社や警察などの連携により防犯対策の強化を望む。 交通安全対策の推進にあたって交通安全教室の開催は、啓発活動として有効であると思うが、成果指標に掲げた交通安全教室参加者数については、昨年度と同様に未達成であるため、早急に講習内容や周知方法の検証を行い改善を加え事業に取り組む必要がある。特に、学生の自転車運転マナーの向上を図るため、継続的な事業の実施に向け学校や警察との連携強化を推進し、交通安全対策の充実を図っていただきたい。						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	114101	交通指導員設置費（栃木）				40,581	100
	114102	交通指導員設置費（大平）				1,606	100
	114103	交通指導員設置費（藤岡）				1,225	100
	114104	交通指導員設置費（都賀）				830	100
	114105	交通指導員設置費（西方）				403	100
	114106	交通指導員設置費（岩舟）				2,349	100
	114203	交通安全対策事業費（藤岡）				1,557	100
	114204	交通安全対策事業費（都賀）				2,843	100
	114301	防犯事業費（栃木）				7,077	100
114303	防犯事業費（藤岡）				400	100	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114101	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	交通指導員設置費（栃木）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 交通防犯課 交通防犯担当 交通防犯チーム					担当者	毛塚友己彦					従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	375,716 千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時における交通整理誘導を行う。 ・交通安全教室を開催する。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・交通事故を防止するため、歩行者等の交通安全の確保を図る。 ・交通安全教室の受講者数を増加させる。					
												成果目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)				

単位：千円、人		平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容 その成果		平成25年度		平成26年度		事業の事後評価					
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	【事業内容】		【事業内容】		妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	県支出金		270	270		・児童生徒の登校時の交通安全誘導を行う。 ・各種行事開催時の交通整理、誘導を行う。 ・交通安全教室の開催。 ・交通指導員等報酬、制服購入	・児童生徒の登校時の交通安全誘導を行う。 ・各種行事開催時の交通整理、誘導を行う。 ・交通安全教室の開催。 ・交通指導員等報酬								
	地方債		0	0		【成果】	・児童生徒の登校及び各種行事の交通安全が確保された。	【成果】	・児童生徒の登校及び各種行事の交通安全が確保された。						
	その他特財		0	0		・交通安全教育の推進が図られた。	・交通安全教育の推進が図られた。								
	一般財源		33,842	36,561											
	事業費 a		34,112	36,831											
	人件費 b		2,250	3,750											
減価償却費 c			0												
総事業費 a+b+c		36,362	40,581	指標名	算出方法	単位	妥当	無	適正	有効	無	有			
結果指標 1		56.00	61.00	交通指導箇所	交通指導員数(H26目標値:61人)	箇所									
結果指標 2		2,175.00	2,518.00	交通安全教室受講者数	年間受講者数(H26目標値:4,500人)	人									

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)														
	・交通安全教室については、市民の受講意欲を高めること等に配慮するとともに、交通安全だけでなく、防犯についての内容も取り入れることにより、安全安心の意識高揚を図る。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114102	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	交通指導員設置費（大平）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	大平総合支 大平生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム					担当者	田山 めぐみ		従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例							事業期間	H21 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	1,215 千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時における交通整理誘導を行う。 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・交通事故を防止するため、歩行者等の交通安全の確保を図る。				
	成果目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)									

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成25年度		平成26年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童・生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。		事業の内容 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童・生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。						
	県支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他特財	0	0									
	一般財源	10	106									
	事業費 a	10	106									
	人件費 b	1,500	1,500									
減価償却費 c		0										
総事業費 a+b+c	1,510	1,606	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	5.00	5.00	交通指導箇所	交通指導員数 H26年度目標値5箇所	箇所		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2												

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 交通指導員の意思統一、情報の共有化を図るため、会議を開催する。											
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114103	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策																																																					
事業名	交通指導員設置費（藤岡）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実																																																				
担当部課 係・担当チーム名	藤岡総合支 藤岡生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム					担当者	田中 正和					従																																																							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例								事業期間	H16 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	48,000	千円																																																		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 交通指導員に下記の任務される為の業務 ・児童、園児等の登校時の安全な誘導 ・歩行者及び自転車通行者に対する正しい交通の指導 ・交通安全に関する広報活動の推進及び意見の提出 ・催し物等の各種行事開催時における交通混雑の整理誘導 ・前各号に掲げるものほか、市長が交通安全上必要と認めた事項 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・交通指導員として交通に関する法令に通じ、交通安全教育に熱意を有し、指導力を発揮し交通安全を推進する。 ・交通安全教室の受講者数を増加させる。																																																							
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込											成果 施策目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)																																																				
事業費・ 指標の 推移	国庫支出金		0	0	事業の内容										平成25年度										平成26年度																																										
	県支出金		0	0											【事業の内容】 ・児童、生徒等の登校時の安全な誘導を行う ・各種行事における交通整理や誘導 【成果】 ・児童、生徒等の登校時の安全が確保できた ・イベント来場者の安全が図られた										【事業の内容】 ・児童、生徒等の登校時の安全な誘導を行う ・各種行事における交通整理や誘導 【成果】 ・児童、生徒等の登校時の安全が確保できた ・イベント来場者の安全が図られた																																										
	地方債		0	0	事業の内容 その成果																																																														
	その他特財		0	0																																																															
	一般財源		343	100																																																															
	事業費 a		343	100																																																															
	人件費 b		750	1,125																																																															
減価償却費 c			0																																																																
総事業費 a+b+c		1,093	1,225																																																																
結果指標 1		10.00	10.00	交通指導員設置箇所	交通指導員数					H26目標値10人					単位	人																																																			
結果指標 2																																																																			
事業の 事後評価	妥当性											妥当	コスト削減の余地	無										受益者負担	適正										上位貢献度	有効										類似事業の有無	無										成果向上の余地	無									
	妥当											無	無											適正	有効											無											無																				
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 効率的に事務執行に努める。交通指導員の意志統一を図るため月1回会議開催。																																																																		
事後評価備考																																																																			

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114104	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	交通指導員設置費（都賀）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	都賀総合支 都賀生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム					担当者	石川 太陽		従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例							事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	1,536 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時における交通整理誘導を行う。 【主要事業】								達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・交通事故を防止するため、歩行者等の交通安全の確保を図る。						
									成果 施策目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)						

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容		その成果	
国庫支出金	0	0	平成25年度		平成26年度	
県支出金	0	0	【事業の内容】		【事業の内容】	
地方債	0	0	・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。		・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。	
その他特財	0	0	・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。		・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。	
一般財源	55	80	【成果】		【成果】	
事業費 a	55	80	・児童・生徒の登校時の安全を確保できた。		・児童・生徒の登校時の安全を確保できた。	
人件費 b	750	750	・イベント来場者の安全が図れた。		・イベント来場者の安全が図れた。	
減価償却費 c		0	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価
総事業費 a+b+c	805	830	交通指導員数	交通指導員数 H26目標数値：4人	人	妥当性
結果指標 1	4.00	4.00	活動日数	活動日数 H26目標数値：190日	日	妥当
結果指標 2	189.00	190.00				無
						適正
						有効
						有
						有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	・児童生徒の交通事故を未然に防止している。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114105	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	交通指導員設置費（西方）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	西方総合支 西方生環課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム					担当者	寺内 史幸		従								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	558	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時における交通整理誘導を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・交通事故を防止するため、歩行者等の交通安全の確保を図る。					
	単位：千円、人										成果 施策目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)					

事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成25年度			平成26年度						
	県支出金		0	0		【事業の内容】 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童、生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。	【事業の内容】 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童、生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。								
	地方債		0	0											
	その他特財		0	0											
	一般財源		142	28											
	事業費 a		142	28											
	人件費 b		750	375											
減価償却費 c			0												
総事業費 a+b+c		892	403	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		3.00	3.00	交通指導員設置箇所	交通指導員数 H26目標値 3人			人		妥当	無	適正	有効	無	無
結果指標 2															

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 効率的に事務執行に努める。														
--------	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114106	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	交通指導員設置費（岩舟）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	岩舟総合支 岩舟生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム					担当者	荻原 知巳					従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例								事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	370	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時における交通整理誘導を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・交通事故を防止するため、歩行者等の交通安全の確保を図る。					
	単位：千円、人										成果 施策目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度～平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度～平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度～平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)					

事業費・指標の推移	国庫支出金			事業の内容 その成果	平成25年度			平成26年度					
	県支出金				【事業の内容】 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童・生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。								
	地方債												
	その他特財												
	一般財源		99										
	事業費 a		99										
	人件費 b		2,250										
減価償却費 c													
総事業費 a + b + c		2,349	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		6.00	交通指導箇所	交通指導員数 H26目標値：5人		箇所		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 交通指導員の意思統一、情報の共有化を図るため、会議を開催する。													
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	020113	予算事業コード	114401	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	防犯灯設置費											主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 交通防犯課 交通防犯担当 交通防犯チーム						担当者	宮田若美					従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市防犯灯の設置及び管理に関する要綱								事業期間	S 3 7 ~ H 2 9 年度		全体事業費 (人件費除)	58,899 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・市民の安全と犯罪の防止を図るため、自治会と連携し防犯灯を設置する。 【主要事業】											達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・自治会の申請に基づき、必要な箇所に効果的に防犯灯を設置する。 ・新規住宅街、新設道路の開通、店舗の閉鎖等、様々な状況に併せ、柔軟に対応し新設、撤去、移設を行うようにする。				
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)															

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込												
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0											
	県支出金	0	0											
	地方債	0	17,700											
	その他特財	0	0											
	一般財源	0	1,980											
	事業費 a	0	19,680											
	人件費 b	0	3,750											
減価償却費 c		0												
総事業費 a+b+c	0	23,430												
結果指標 1	0.00	580.00	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 2	0.00	12,888.00	LED灯設置数	設置灯数(H26目標値：530灯)	灯									
			総設置灯数	設置状況(H26目標値：12,850灯)	灯									
事業改善計画 (改善内容とその効果を具体的に記入) ・自治会からの申請を十分に尊重しつつ、より効果的な箇所への設置を検討し、必要があれば自治会と協議する。 ・不要になった防犯灯器具の再利用等により、コストを縮減する。														

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・自治会からの申請を十分に尊重しつつ、より効果的な箇所への設置を検討し、必要があれば自治会と協議する。 ・不要になった防犯灯器具の再利用等により、コストを縮減する。											
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	020113	予算事業コード	114404	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策				
事業名	防犯灯設置費（都賀）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実			
担当部課 係・担当チーム名	都賀総合支 都賀生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム					担当者	鈴木 健司		従									
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市防犯灯の設置及び管理に関する要綱							事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	2,322 千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・市民の安全と犯罪防止を図るため、自治会と連携し防犯灯を設置する。 【主要事業】							達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・自治会の申請に基づき、必要な箇所に効果的に防犯灯を設置する。									
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成25年度				平成26年度				成果 施策 目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)					
事業費・ 指標の 推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 自治会から防犯灯申請があったものの受付及び現地確認。 【成果】 交通防犯の確保が行われている。				事業の内容 自治会から防犯灯申請があったものの受付及び現地確認。 【成果】 交通防犯の確保が行われている。				その成果					
	県支出金		0	0														
	地方債		0	0														
	その他特財		0	0														
	一般財源		0	0														
	事業費 a		0	0														
	人件費 b		150	150														
減価償却費 c			0															
総事業費 a + b + c		150	150	指標名	算出方法		単位	事業の 事後 評価	妥当性	コスト削減の 余地	受益者 負担	上位 貢献度	類似事業 の有無	成果向上 の余地				
結果指標 1		95.00	111.00	申請基数	申請基数 H26目標数値：50灯		灯		妥当	有	適正	有効	無	有				
結果指標 2																		
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・自治会からの申請の受理及び現地確認等による適正管理。																	
事後評価備考																		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	020113	予算事業コード	114405	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策				
事業名	防犯灯設置費 (西方)										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実			
担当部課 係・担当チーム名	西方総合支 西方生環課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム					担当者	寺内 史幸			従								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	8,741 千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 自治会の要望に基づき防犯灯の新設、移設を行う 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 夜間の道路の危険箇所解消						
	成果 施策目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)																
単位: 千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込																
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0														
	県支出金		0	0														
	地方債		0	0														
	その他特財		0	0														
	一般財源		0	0														
	事業費 a		0	0														
	人件費 b		750	375														
減価償却費 c			0															
総事業費 a+b+c		750	375															
結果指標 1		24.00	11.00	申請基数	申請基数 H26目標値 20灯		単位	灯										
結果指標 2																		
事業の事後評価	妥当性	妥当		コスト削減の余地	無		受益者負担	適正		上位貢献度	有効		類似事業の有無	無		成果向上の余地	無	
	妥当	無		適正	有効		無	無		無	無		無	無				
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・効率的に事務執行に努める。 ・自治会に公平、平等に設置するように努める。																	
事後評価備考																		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	020113	予算事業コード	115101	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	防犯灯 L E D 化事業費										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 交通防犯課 交通防犯担当 交通防犯チーム						担当者	古澤隆		従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市防犯灯の設置及び管理に関する要綱							事業期間	H 2 5 ~ H 2 5 年度		全体事業費 (人件費除)	250,000	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・自治会等が維持管理しているすべての蛍光灯タイプ防犯灯約10,000灯を、消費電力が少なく環境に優しいLEDタイプ防犯灯へ交換する。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・電気料並びに維持管理費用を大幅に削減する。 ・自治会負担をなくすため、自治会管理の防犯灯を市の管理とする。 0601				
	成 果 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)														

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容 その成果 平成 2 5 年度 平成 2 6 年度 ・自治会等が維持管理しているすべての蛍光灯タイプ防犯灯9,699灯を、消費電力が少なく環境に優しいLEDタイプ防犯灯へ交換した。 ・新規にLEDタイプ防犯灯を250灯設置した。												
事業費・指標の推移	国庫支出金	0													
	県支出金	0													
	地方債	225,000													
	その他特財	0													
	一般財源	15,856													
	事業費 a	240,856													
	人件費 b	2,250													
	減価償却費 c														
	総事業費 a+b+c	243,106	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
	結果指標 1	9,949.00	工事灯数	交換及び新設済灯数(H25目標：10,000灯)	灯		妥当	無	適正	有効	無	無			
	結果指標 2														

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 平成25年度事業完了。											
--------	-----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	403001	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道 A 1 号線交通安全施設整備事業費（栃木万町）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路課 道路整備担当 道路整備チーム						担当者	阿部 洋一				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		事業期間		H18 ~ H26 年度		全体事業費 (人件費除)	305,000		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道 A 1 号線用地買収、歩道の整備により、歩車道を分離する。 場所 万町 延長 205.0m、歩道幅員2.5m×2、完成道路幅員11.5m 用地取得 770㎡、地権者数14名 物件補償 10件、権利者数11名 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・通学児童や歩行者等の交通安全を確保する。 ・栃木大通り交差点の円滑な交通を確保する。								

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成 25 年度		平成 26 年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	12,265	18,700	【事業の内容】 歩道整備事業のために必要な物件調査(再積算)、用地の取得、物件補償及び工事を実施する。 【成果】 歩道整備事業のために必要な用地の取得 A=45.30㎡、2筆、物件補償2件及び工事 L=106.8mを実施した。[翌年度に繰越]		事業の内容 その成果						
	県支出金	0	0	【事業の内容】 歩道整備事業のために必要な用地の取得、物件補償及び工事を実施する。 【成果】 歩道整備事業のために必要な用地の取得 A=45.30㎡、2筆、物件補償2件及び工事 L=106.8mを実施した。 ・用地取得率：100.00% ・工事進捗率：100.00%								
	地方債	11,100	13,100									
	その他特財	0	0									
	一般財源	1,293	1,519									
	事業費 a	24,658	33,319									
	人件費 b	1,500	1,500									
減価償却費 c												
総事業費 a+b+c	26,158	34,819	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	65.00	205.00	歩道整備延長	累積整備延長 H26目標値：205m	m							
結果指標 2	89.11	100.00	事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100 H26目標値：100%	%							
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 歩車道の分離により児童が安全に通行できるようになった。 また、市庁舎への車両通行も円滑で安全性が向上した。											
事後評価備考												

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	405201	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道 106 号線交通安全施設整備事業費（栃木祝町）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路課 道路整備担当 道路整備チーム						担当者	阿部 洋一				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		事業期間	H20 ~ H28 年度				全体事業費 (人件費除)	363,000		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道106号線(祝町)を用地買収、歩道設置等により歩車道を分離する。 歩道設置工事 L=150.0m、W=2.5m(完成道路幅員 11.5m) 用地取得 1,400㎡ 物件補償 建物8棟、他工作物等 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・通学児童や歩行者等の交通安全を確保する。 ・市庁舎周辺への交通を誘導すると共に、安全で快適な道路交通環境を確保する。								
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)														
単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込		事業の内容				事業の内容								
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成25年度				平成26年度								
	県支出金	0	0	【事業の内容】 歩道整備事業に必要な用地の取得を行うため、土地鑑定評価を実施する。				【事業の内容】 歩道整備事業に必要な用地の取得、物件補償及び工事を実施する。								
	地方債	0	94,400	【成果】 歩道整備事業に必要な用地の取得を行うため、土地鑑定評価を実施した。				【成果】 歩道整備事業に必要な用地の取得 A=471.69㎡、3筆、物件補償2件、工事 L=87.1mを実施した。 ・用地取得率：96.70% ・工事進捗率：58.10%								
	その他特財	0	0	事業の内容				事業の内容								
	一般財源	160	10,553	その成果				その成果								
	事業費 a	160	104,953	指標名				算出方法								
	人件費 b	1,500	1,500	歩道整備延長				累積整備延長 H26目標値：87.1m								
減価償却費 c	0	0	事業進捗率				累積事業費÷全体事業費×100 h26目標値：95.5%									
総事業費 a+b+c	1,660	106,453	単位				事業の事後評価									
結果指標 1	0.00	87.10	妥当性				コスト削減の余地									
結果指標 2	66.59	95.50	妥当				有									
事業改善計画		(改善内容とその効果を具体的に記入) 1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討および決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討														
事後評価備考																

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	405301	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道 A 1 号線交通安全施設整備事業費 (栃木入舟町)										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路課 道路整備担当 道路整備チーム						担当者	阿部 洋一				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		事業期間	H 2 5 ~ H 3 1 年度				全体事業費 (人件費除)	200,000		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道A1号線を用地買収、歩道の整備により歩車道を分離する。 ・歩道整備工事 L=110m W=2.5m(完成道路幅員 11.5m) ・用地取得 約700㎡ ・物件補償 建物6棟、他工作物等 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・通学児童や歩行者等の交通安全を確保する。 ・市庁舎周辺への交通を誘導すると共に、安全で快適な道路交通環境を確保する。								
	成果目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)														

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容		その成果							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度						
	県支出金	0	0	【事業の内容】 歩道整備事業に必要な測量設計業務を実施する。		【事業の内容】 歩道整備事業に必要な土地鑑定評価、用地測量、物件調査を実施する。						
	地方債	2,500	5,500	【成果】 歩道整備事業に必要な測量設計業務を実施した。		【成果】 歩道整備事業に必要な土地鑑定評価、用地測量、物件調査を実施した。						
	その他特財	0	0									
	一般財源	304	630									
	事業費 a	2,804	6,130									
人件費 b	1,500	1,500										
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	4,304	7,630	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価						
結果指標 1	0.00	0.00	歩道整備延長	累積整備延長	H26目標値：0m	m	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	1.40	4.47	事業進捗率	累積事業費 ÷ 全体事業費 × 100	H26目標値：4.50%	%	妥当	有	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討及び決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	406104	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道 T 5 6 号線 (合戦場工区) 道路改良事業費 (都賀合戦場)										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	都賀総合支 都賀都建課 都市建設担当 都市管理チーム						担当者	斉藤 友良		従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	道路法		事業期間	H 2 1 ~ H 3 1 年度		全体事業費 (人件費除)	166,800		千円				
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道 T 5 6 号線 (都賀町合戦場内) を用地買収・改築工事等により改良する。 ・道路拡幅工事 L = 290m W = 12.0m ・用地取得 A=1,740㎡ ・物件補償 19件 【主要事業】								達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・安全で快適な通行を確保する。 ・沿線の生活環境の保全を確保する。						
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)														

単位: 千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 市道T56号線の整備のため土地価格変動調査 ・物件調査再算定業務を実施する。 【成果】 ・土地価格変動状況調査 1式 ・物件補償再算定業務委託 1式											
	県支出金	0	0												
	地方債	0	0												
	その他特財	0	0												
	一般財源	336	0												
	事業費 a	336	0												
	人件費 b	2,250	0												
減価償却費 c		0	平成 2 5 年度 平成 2 6 年度 用地交渉難航のため休止												
総事業費 a+b+c	2,586	0	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 1	0.00	0.00	道路整備延長	累積整備延長 [H26目標値:0m]	m	妥当	無	適正	有効	無	有				
結果指標 2	36.65	36.65	事業進捗率	累積事業費 ÷ 全体事業費 × 100 [H26目標値:36.55%]	%										

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画の検討及び決定 再生資源の活用による建設コスト削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	406901	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道 106 号線交通安全施設整備事業費（栃木大宮町）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路課 道路整備担当 道路整備チーム						担当者	阿部 洋一				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		事業期間	H23 ~ H34 年度				全体事業費 (人件費除)	338,000		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道106号線(大宮町地内)を用地買収、歩道の整備により歩車道を分離する。 歩道整備工事 L=780m W=2.5m(完成道路幅員9.5m) 用地買収 1,950㎡ 物件補償 30件 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 通学児童や歩行者等の交通安全を確保する。								

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成 25 年度		平成 26 年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	6,325	【事業の内容】 歩道整備事業に伴う用地の取得に必要な、土地鑑定評価及び物件調査を実施する。 【成果】 歩道整備事業のために必要な用地取得のため、土地鑑定評価及び物件調査を実施した。		【事業の内容】 歩道整備事業に必要な土地評価、物件調査及び用地取得を実施する。 【成果】 歩道整備事業のために必要な用地の取得A=217.30㎡、4筆を実施した。 ・用地取得率：8.16%						
	県支出金	0	0									
	地方債	10,000	4,600									
	その他特財	0	0									
	一般財源	1,127	609									
	事業費 a	11,127	11,534									
	人件費 b	1,500	1,500									
減価償却費 c	0	0	事業の内容 その成果									
総事業費 a+b+c	12,627	13,034	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	0.00	0.00	歩道整備延長	累積整備延長	H26目標値：0m	m	妥当	有	適正	有効	無	有
結果指標 2	8.76	12.17	事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100	H26目標値：12.17%	%						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討及び決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080202	予算事業コード	414601	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道各路線交通安全施設整備事業費（栃木）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路課 道路維持担当 道路維持チーム						担当者	瀬下敏行				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		事業期間	H18 ~ H29 年度				全体事業費 (人件費除)	135,400		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市内各路線の危険性が高いと認められる箇所について、交通安全施設(歩道・照明施設、側溝蓋設置、区画線、ガードレール等)の整備を実施する。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 安全で快適な通行を確保する。								
	成果 施策目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)														

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成25年度			平成26年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】			【事業の内容】						
	県支出金	0	0	・市内各路線の危険な箇所について、交通安全施設の整備を実施する。			・市内各路線の危険な箇所について、交通安全施設の整備を実施する。						
	地方債	12,000	0	・街路灯の設置されていない路線に街路灯の設置を実施する。			・街路灯の設置されていない路線に街路灯の設置を実施する。						
	その他特財	0	0	・歩道の設置されていない路線にカラー舗装を実施する。			【成果】						
	一般財源	6,995	4,999	【成果】			・市内14箇所にガードレール等の交通安全施設の整備を実施した。						
	事業費 a	18,995	4,999	・市内11箇所に区画線設置等の交通安全施設の整備を実施した。			・市道106号線に街路灯を設置した。						
	人件費 b	750	750	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無
減価償却費 c			整備箇所数	当該年度整備箇所数 H26目標値:10箇所		箇所							
総事業費 a+b+c	19,745	5,749					妥当						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 再生資源の活用による建設コストの削減														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080202	予算事業コード	414604	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道各号線交通安全施設整備事業費（都賀）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	都賀総合支 都賀都建課 都市建設担当 建設チーム						担当者	斉藤友良				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	道路法			事業期間	H24 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	4,100		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市内各路線の危険性の高いと認められる箇所について、交通安全施設(歩道・照明施設・側溝蓋設置、区画線、ガードレール等)の整備を実施する。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 安全で快適な通行を確保する。								
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込		成果目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)										
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成25年度					平成26年度					
	県支出金		0	0		【事業の内容】 交通安全施設の整備を実施する。					事業間調整のため休止					
	地方債		0	0		【成果】 交通安全施設工事 一式										
	その他特財		0	0												
	一般財源		756	0												
	事業費 a		756	0												
	人件費 b		375	0												
減価償却費 c			0													
総事業費 a+b+c		1,131	0	指標名		算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		11.00	11.00	整備箇所数		累積整備箇所数 [0箇所]			箇所		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2																
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 再生資源の活用による建設コストの削減															
事後評価備考																

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	491901	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策					
事業名	市道205号線交通安全施設整備事業費（栃木箱森町）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実				
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路課 道路整備担当 道路整備チーム						担当者	阿部 洋一			従								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		事業期間	H24 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	380,000		千円					
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 箱森町地内の市道205号線用地買収・歩道設置等により歩車道を分離する。 ・歩道整備工事 L=750.0m、W=2.5m ・用地取得 約2,500m ² ・物件補償 建物7棟、他工作物等 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・通学児童や歩行者等の交通安全を確保する。											
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)																	
単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込																	
事業費・指標の推移	国庫支出金	0																	
	県支出金	0																	
	地方債	6,000																	
	その他特財	0																	
	一般財源	775																	
	事業費 a	6,775																	
	人件費 b	1,500																	
減価償却費 c	0																		
総事業費 a+b+c	8,275																		
結果指標 1	10.00		10.00		指標名	道路整備延長	算出方法	累積整備延長	H26目標値：10.00m	単位	m	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 2	2.63		2.63		事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100		H26目標値：1.80%		%	妥当		有	適正	有効	無	有		
(改善内容とその効果を具体的に記入) 1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討および決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討																			
事後評価備考	休止																		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	492001	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道 107号線交通安全施設整備事業費（栃木本町・城内町1丁目）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路課 道路整備担当 道路整備チーム						担当者	阿部 洋一				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		事業期間	H25 ~ H31 年度				全体事業費 (人件費除)	150,000		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 本町・城内町1丁目地内の市道107号線用地買収・歩道設置等により歩車道を分離する。 ・歩道整備工事 L=175.0m W=2.0m ・用地取得 約440㎡ ・物件補償 建物4棟、他工作物等 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・通学児童や歩行者等の交通安全を確保する。								
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)														

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容 その成果									
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成25年度 【事業の内容】 歩道整備事業に必要な用地の取得を実施する。 【成果】 歩道整備事業に必要な用地の取得 A=158.07㎡、1筆を実施した。 ・用地取得率：35.90%								
	県支出金	0	0									
	地方債	5,200	3,100									
	その他特財	0	0									
	一般財源	649	356									
	事業費 a	5,849	3,456									
	人件費 b	1,500	1,500									
減価償却費 c	0	0	平成26年度 【事業の内容】 歩道整備事業に必要な工事を実施する。 【成果】 歩道整備事業に必要な工事を実施した。 ・工事進捗率：21.00%									
総事業費 a+b+c	7,349	4,956										
結果指標 1	0.00	36.80	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	3.90	6.20	歩道整備延長	累積整備延長 H26目標値：36.8m	m							
			事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100 H26目標値：6.2%	%							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討および決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事 様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	080202	予算事業コード	497301	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	通学路安全施設整備事業費										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路課 道路維持担当 道路維持チーム						担当者	瀬下敏行				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H24 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	33,000 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 通学路の安全を確保するため、関係機関の連携による通学路の安全点検および即効性のある対策を講じる。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 通学路上の危険箇所について即効性のある対策を講じ、危険を縮小・解消する。					
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)															

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金	1,430	6,034	平成25年度						平成26年度					
	県支出金	0	0	【事業の内容】 通学路の緊急合同点検結果に基づき、路側帯のカラー化や路面表示等の即効性のある工事を実施する。											
	地方債	0	4,900	【事業の内容】 通学路の緊急合同点検結果に基づき、路側帯のカラー化や路面表示等の即効性のある工事を実施する。											
	その他特財	0	0	【成果】 ・市道0197号線の路側帯のカラー舗装を実施した。 ・市道205号線外7路線に路面表示等の安全対策を実施した。											
	一般財源	4,570	6,588	【成果】 ・市道F5-84号線の路側帯のカラー舗装を実施した。 ・市道215号線外14路線に路面表示等の安全対策を実施した。											
	事業費 a	6,000	17,522	事業の内容 その成果											
	人件費 b	1,500	1,500												
減価償却費 c															
総事業費 a+b+c	7,500	19,022	指標名	算出方法				単位	事業の事後評価						
結果指標 1	9.00	16.00	対策実施箇所数	危険の縮小・解消のための措置を実施した箇所数 H26年度目標値: 15箇所				箇所	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 2									妥当	有	適正	有効	無	有	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 国が示した実施要領に基づき実施した緊急合同点検の結果を踏まえ、ライン処理等により注意喚起・視認性向上を図った。														

事後評価備考	本事業は、教育委員会が実施する通学路の安全点検の結果に基づき、交通防犯課、教育総務課等関係課と連携しながら実施した。														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--